

米生産者の皆さまへ

3 1年産の主食用米の生産においても、
「作付参考値」を踏まえながら
 計画的な生産に取り組みましょう！



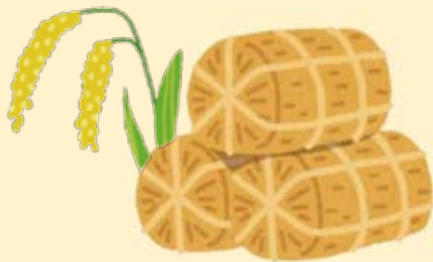
● 6月末在庫量と価格の関係

- 農林水産省は、31年6月末民間在庫量が188万トンになるとの見通しを示しました。在庫量が減少傾向にあることもあり、米価は回復基調にあります。

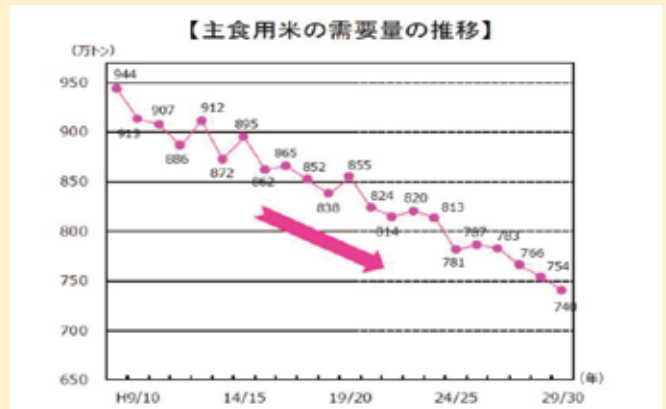


資料：農林水産省「米穀の需要及び価格の安定に関する基本指針」

- 一方で、人口減少もあり、米の消費量(需要)は減少が続くものと見込まれます。(年間10万トン程度が減少するといわれています。)



● 主食用米の需要量の推移



資料：農林水産省「米穀の需要及び価格の安定に関する基本指針」

◎米の消費が減少している中、引き続き**「需要に応じた生産」**に取り組むことが必要です！

- 31年産においても、農業再生協議会から農業者の皆さまに**「作付参考値」**を提示します。(県産米の需要に見合った作付面積として算出したものが**「作付参考値」**です)
- 31年産においても、国は戦略作物助成(麦・大豆・飼料用米等)や産地交付金を継続します。
- 水田フル活用に取り組み、需要のある露地野菜への転換(裏面参照)や、麦・大豆の生産拡大を進めましょう！

水田に露地野菜を導入して所得向上を!!

主食用米の助成金がなくなって、経営が苦しくなったな。
規模拡大にも限界があるし、何を作ればいいのか...



これから作るなら「露地野菜」!!!

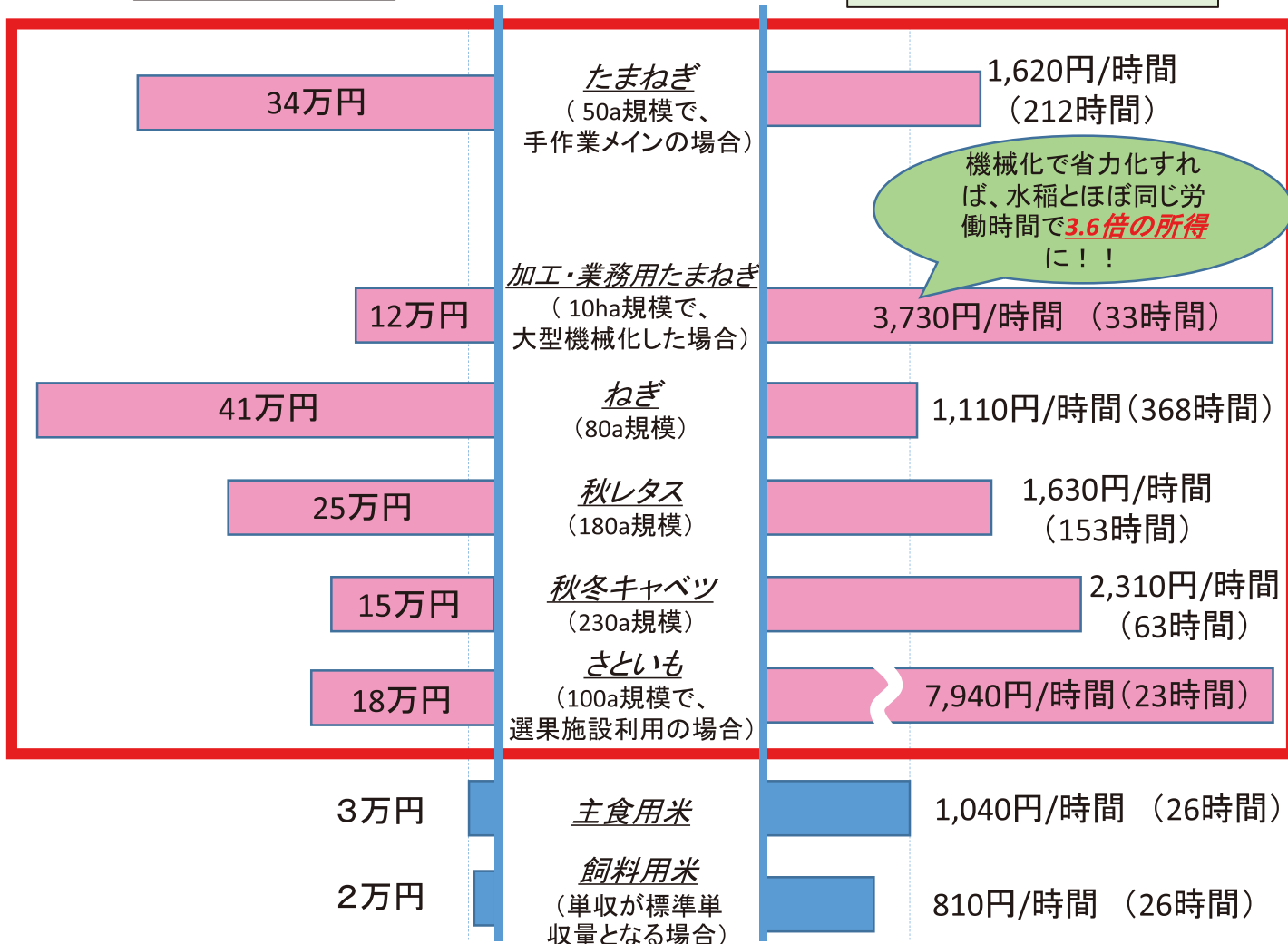
- ・国産の加工・業務用露地野菜(カット野菜など)は需要が高まっています。
- ・今の露地野菜の作業は機械化が進み、省力的です。
- ・整備された水田は機械化作業に適し、水稲との輪作で連作障害も回避できます。
- ・何より水稲を上回る所得が期待できます。



みのリス

10a当たり所得

労働時間当たり所得
(10a当たり労働時間)



注: 飼料用米は助成金8万円/10aを含む。飼料用米以外は助成金は含まない。